

庆祝中国山东省·日本山口县
缔结友好关系35周年

乡愁

日本近代浮世绘名品

Nostalgia-The Exhibition of Japanese
Modern Ukiyo-e Masterpieces

山东博物馆 编



出版公司
Shanghai Co., Ltd.

庆祝中国山东省·日本山口县
缔结友好关系 35 周年

乡愁

日本近代浮世绘名品

Nostalgia-The Exhibition of Japanese
Modern Ukiyo-e Masterpieces

山东博物馆 编



Beijing United Publishing Co., Ltd.
北京联合出版公司

图书在版编目 (C I P) 数据

乡愁:日本近代浮世绘名品/山东博物馆编.——

北京:北京联合出版公司,2017.6

ISBN 978-7-5596-0497-2

I. ①乡… II. ①山… III. ①浮世绘—作品集—日本—近代 IV. ①J237

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2017) 第 102496 号

乡愁——日本近代浮世绘名品

编 者:山东博物馆

责任编辑:夏 艳 张 芑

书籍设计:任 毅

出版发行:北京联合出版有限责任公司

社 址:北京市西城区德外大街 83 号楼 9 层

北京联合天畅发行公司发行

邮 编:100088

电 话:(010) 64243832

印 刷:北京雅昌艺术印刷有限公司

开 本:787mm×1092mm 1/16

字 数:130 千字

印 张:10

版 次:2017 年 6 月第 1 版

印 次:2017 年 6 月第 1 次印刷

定 价:280.00 元

文献分社出品

未经许可,不得以任何方式复制或抄袭本书部分或全部内容
版权所有,侵权必究

编委会

主 任：郭思克

副 主 任：王 斌 杨 波 卢朝辉

委 员：张德群 王勇军 姜惠梅 李 栋 刘元明

殷杰琼 郭映雪 华金刚 张晓南 周浩然

主 编：郭思克

副 主 编：李 栋 郭映雪

展品说明：渊田惠子

翻 译：郭映雪

校 对：张晓南 周浩然

展览策划：郭思克

展览协调：郭映雪（中方） 柿添康平（日方） 李小涛（中方）

内容设计：李 栋 郭映雪 渊田惠子

设计布展：王勇军 殷杰琼 华金刚

宣传教育：姜惠梅 刘元明 杨秋雨 刘安鲁

涂 强 陈 娟 李 波

文物安全：赵 枫 赵洪浩 张小松 沈志国

目 录

002	贺词
006	展览概要
008	第1章 桥口五叶
030	第2章 川濑巴水
068	第3章 吉田博
116	第4章 伊东深水
132	浮世绘版画的历史与新版画
138	浮世绘的“文艺复兴”——浅析新版画的诞生
144	山东潍县杨家埠木版年画概述
148	日本近代浮世绘新版画制作过程
149	日本近代浮世绘新版画拓印顺序
150	山东省与山口县展览交流回顾
153	乡愁——日本近代浮世绘名品展展品清单

庆祝中国山东省·日本山口县
缔结友好关系 35 周年

贺词

值此《乡愁——日本近代浮世绘名品展》在山东博物馆隆重展出之际，我谨代表山东省人民政府表示热烈祝贺！

今年是山东省与山口县缔结友好关系 35 周年。35 年来，两省县持续开展多形式、多层次的文化交流合作，山东省多次赴山口县举办文物精品展览，山口县也在山东举办文化艺术特色展览。此次日本在世界艺术领域有着重要影响的近代浮世绘名家作品来到山东，围绕浮世绘进入明治后的发展与变迁，集中展示了新版画代表画家桥口五叶、川濑巴水、吉田博、伊东深水等人的作品，生动展现了日本近代浮世绘版画的再生轨迹。这个高水平的浮世绘名品展，相信会引起山东人民的极大兴趣，将进一步加深双方了解，增进两地友谊。

日本浮世绘的产生与中国的木版年画有重要关系。年画是中国特有的民间美术形式，春节贴年画是我国的古老习俗，历史已逾千年，承载着中华民族祈盼风调雨顺、国泰民安的世俗信仰。山东的杨家埠木版年画，造型质朴、想象丰富、线条流畅、色彩鲜明，是中国三大传统木版年画之一，2006 年被列入第一批国家级非物质文化遗产名录。此次日本近代浮世绘名品展出，必将推动中国传统木版年画与浮世绘新版画之间的交流与对话，促进这两种艺术形式绽放出新的光芒，为中日双方文化交流增添新的亮点。

祝山东省与山口县的友好合作更加深入，更上层楼！

祝展览圆满成功！

山东省省长



2017 年 6 月 1 日

「郷愁——日本近代浮世絵版画名品展」が山東博物館において盛大に開催されるにあたり、山東省人民政府を代表して謹んで熱烈なお祝いを申し上げます。

今年は山東省・山口県友好協定締結 35 周年であります。山東省と山口県友好締結 35 周年以来、文化交流が頻繁に行われてき、国際交流のモデルになりました。山東省はたびたび文物名品展を山口県で開催し、山口県はまた山東省で、特色のある展覧会など行われてきました。このたび、山東省で開催される「郷愁——日本近代浮世絵版画名品展」では、日本が世界に誇る近代芸術——近代浮世絵と呼ぶことができる新版画を紹介します。明治になってからの大正・昭和の時代に、活躍した橋口五葉、川瀬巴水、吉田博、伊東深水などの新版画の巨匠の作った生活に満ちた大衆文化の美を展覧されます。この展覧会は素晴らしい展覧会で、山東省の友人に、浮世絵のルネサンスを見せます。

日本の浮世絵は中国の木版年画と切っても切れない関係をもっています。年画は中国特有の民間芸術の一つであり、春節に、年画が貼ることが中国の昔からの習俗であり、すでに、千年の歴史を持っています。それは、中国人の農作業の豊作や生活の平和への祈りがあります。山東省は中国文明の発祥地として、歴史が古く、大衆生活と結びつく版画——楊家埠木版年画があります。造型の素朴さ、構図の完整さ、線の流暢さ、色の鮮やかさで、有名で、中国木版年画の一つと高く評価され、2006 年に、國務院の許可を得、第一回国家レベルの非物質文化遺産名録に登録しました。このたびの近代浮世絵新版画と山東省特色のある楊家埠木版年画が文化面で向き合う交流が、必ず中日民族文化芸術を一層の深まりと広がりのある発展的な方向へと促すことでしょう。

山東省と山口県の友好交流がますます深くなることをお祈りいたします。

また、展覧会のご成功を心よりお祈りいたします。

山東省省長



2017 年 6 月 1 日

山口県と山東省の友好協定締結 35 周年を記念して、省都・済南市の山東博物館で「郷愁—日本近代浮世絵版画名品展」が開催されますことを非常に喜ばしく思います。

これまで、山口県では、「シリーズ山東文物」として、山東省の優れた文物を紹介する展覧会を 9 回にわたって開催するとともに、山東省では「浮世絵名品展」（2002 年）、「萩焼—山口県の陶芸展」（2012 年）等が開催されるなど、両県省は継続的に文化交流を図ってきました。これらに続き、このたびは山口県立萩美術館・浦上記念館のコレクションから、「新版画」の代表作をご紹介します。

6 世紀半ばに中国大陸から日本へ伝えられた木版技術は、江戸時代（1603-1868）に庶民文化の隆盛から浮世絵版画を生み出し、わが国の絵画の伝統に新境地をもたらしました。その後、明治（1868-1912）へと時代が変わると、浮世絵版画は、西洋文化の流入などの影響を受けて多彩な表現を見せるものの、衰退を余儀なくされます。この状況の下、浮世絵版画の技術や生産体制の復興と、そこから新しい版画芸術を創造することを目指して成立したのが新版画です。

新版画は、大正（1912-26）から昭和（1926-89）初期にかけて制作され、その描線の精緻さや、摺り重ねられた色彩の豊かさといった高度な木版技術に支えられた美的表現は、当初から、わが国のみならず諸外国においても高い評価を得てきました。

このような歴史的背景を持つ新版画には、伝統的な浮世絵版画の表現を受け継いだことによって醸し出される懐かしさと、西洋美術の学習によってもたらされた新しさが共存しています。そして、それゆえに繰り広げられる美しい世界は、今も多くの人を魅了してやみません。この機会に、新版画の魅力をどうぞ堪能ください。

終わりに、この展覧会を通して、文化芸術分野における相互理解が一層深まり、両県省の友好関係が末永く続きますことを祈念しますとともに、開催に当たって御尽力いただきました山東省人民政府並びに同文物局の関係各位に、厚くお礼申し上げます。

山口県知事

村岡 嗣 政

2017 年 6 月 1 日

贺词

很高兴能在山东省与山口县缔结友好关系 35 周年之际，于山东博物馆举办《乡愁——日本近代浮世绘名品展》。

两省县间一直以展览为纽带，持续进行文化艺术领域的合作与交流。截至目前，介绍山东省精品文物的《山东文物系列展》已在山口县成功举办过 9 次，同时，山东博物馆也举办过介绍山口县文化资源的《浮世绘版画精品展》（2002）、《萩烧——山口县陶艺展》（2012）等展览。在两省县缔结友好关系 35 周年之际，我们山口县把从县立萩美术馆精选的近代浮世绘的新版画代表作介绍给山东的朋友们。

六世纪中期，中国木版画技术传至日本。江户时代（1603—1868）随着大众文化的兴盛，浮世绘版画开始流行，开创了我国传统绘画的新局面。随着时代的发展，明治（1868—1912）以后，浮世绘版画受西洋文化的影响，表现方式愈加多姿多彩，但之后随着机械文明的冲击，浮世绘逐渐走向衰败。在这一背景下，渡边庄三郎等有志之士立志继承传统浮世绘版画技术，复兴生产体制，在传统工艺的基础上加入近代流行元素，创造新时代版画艺术，开创了近代的浮世绘——新版画。

新版画创作期为大正（1912—1926）至昭和（1926—1989）初期，其细致入微的线条，斑斓的色彩及高超的木版雕刻技艺所创造出的美丽世界，深受国内外的高度好评。

这一历史背景下的新版画既有传统浮世绘版画的风骨，也有西洋美术的现代时尚，这“和”与“洋”并存的美丽世界至今令无数人人为之倾倒，相信山东的朋友们也会爱上她！

希望此次展览，进一步深化两省县文化艺术领域的相互理解，愿两省县间的友谊代代相传！

最后由衷感谢山东省人民政府、山东省文博系统的各位同仁对展览的大力支持！

山口县知事 村岡嗣政

2017 年 6 月 1 日

为深化文化艺术领域的合作与学术交流,根据山东省文物局与山口县观光体育文化局持续开展文物交流合作协定,在两省县缔结友好关系35周年之际,于山东博物馆举办纪念展览《乡愁——日本近代浮世绘名品展》,展期为2017年6月1日—2017年7月9日,希望以此为契机,更进一步深化两省县的友好关系及文化艺术领域的合作交流。

日本木版画源自中国,初流入日本时仅供贵族阶层鉴赏。至江户时代,随着大众文化的兴起,木版画制作工艺经由富裕阶层,逐渐在普通民众间传播开来,浮世绘版画由此诞生。在西方,浮世绘版画被视为“和风主义”,成为日本的代名词,并影响至今。继承浮世绘版画传统的日本近代版画现今已成为一门独特的艺术,深受欧美各国人民喜爱。

日本明治时期,从事浮世绘版画出口的渡边庄三郎,发现了尚未被大众认可的浮世绘版画的真正价值,并尝试在浮世绘版画传统创作技艺的基础上加入近代流行元素,开创了深受欧美欢迎的新时代木版画新纪元。最初与其合作的是优秀画师桥口五叶,之后川濑巴水、伊东深水也相继加入,在渡边版画店的主导下,集结雕刻师、印刷师创造出了多样化的近代浮世绘新版画。大正末期,西洋画家吉田博与渡边合作,创作了一批融合东西方审美意识,富有创新精神的版画。

本次展览是近代浮世绘新版画首次来中国,山口县立萩美术馆·浦上纪念馆精选116件近代浮世绘新版画代表作,主要以风景、人物为主题。这些近代浮世绘新版画曾被苹果公司联合创始人史蒂夫·乔布斯追捧并大量收集,可窥见欧美民众对日本近代浮世绘新版画的认知度与喜爱。近年,中国人也越来越关注日本文化,希望通过展览,让中国朋友欣赏到日本近代浮世绘新版画的特色及独特魅力。

展覧会概要

山口県と山東省の友好協力協定にもとづき、山口県観光スポーツ文化部と山東省文物局は、文化芸術分野における相互理解の深化と学術的研究の発展を期するため、継続的に文物交流事業を実施してきました。このたびの企画は、同協定締結から35年を経た両県省間の友好関係がさらに深まることを祈念し、「郷愁—日本近代浮世絵版画名品」展山東博物館においてを開催いたします。会期は、2017年6月1日から7月9日までです。

中国から伝えられた木版画は、当初は上層階級とその抱えの絵師が鑑賞し、技術を享受していました。江戸時代にはいと、庶民文化の隆盛とともに、木版画技術も富裕層を経由して庶民階級にまで伝播し、浮世絵版画が誕生します。浮世絵版画は、西洋においてジャポニスムという文化潮流を生じ、その影響は今日まで及ぶと言って過言ではありません。この浮世絵版画の伝統を継承する近代版画もまた日本独自の芸術として、アメリカを中心に高い評価を得てきました。

明治期に浮世絵版画の輸出業に関わっていた渡邊庄三郎は、当時の日本では評価の低かった浮世絵版画の真価に気づき、この伝統技術を受け継ぎながら、西洋に通用する新しい時代の木版画「新版画」を自ら作り出すことに挑戦します。最初に協力した画家はデザイナーとして活躍していた橋口五葉でした。その後は川瀬巴水、伊東深水とともに、版元渡邊の主導のもと、彫師、摺師が集結して様々な新版画が作られました。洋画家として活躍していた吉田博は、大正末に渡邊と出会い、西洋と東洋の美意識を融合させた新しい感覚の版画を制作しています。

本展覧会では、山口県立萩美術館・浦上記念館のコレクションから、風景や人物を主題とする新版画の代表作116点をご紹介します。スティーブ・ジョブズがコレクションしたことでも知られる「新版画」は、西洋やアメリカを中心に収集され、評価を受けてきました。近年、日本の文化に高い関心を持っておられる中国の皆様にもまた、懐かしくも新しい日本風景として「新版画」をお楽しみいただけることでしょう。

第一章

桥口五叶

橋口五葉



生卒年 明治 14 年 (1881) — 大正 10 年 (1921)

作画期 明治 28 年 (1895) 左右 — 大正 9 年 (1920)

日本近代著名装帧师、设计师、版画家，尤其擅浴女系列，曾为日本文豪夏目漱石著名的小说——《我是猫》绘制插图。后期致力于研究江户时代浮世绘版画并进行创作，其版画传承江户传统，融合近代西洋风格，深受苹果公司联合创始人史蒂夫·乔布斯喜爱并收藏。

桥口五叶是日本首位响应渡边庄三郎发起的新版画运动的画家。

桥口五叶，明治 14 年 (1881) 生于鹿儿岛县鹿儿岛市，藩医世家，少年时代开始学习日本画。明治 32 年 (1899)，赴东京拜日本画家桥本雅邦为师，后受远亲洋画家黑田清辉建议改习洋画，于明治 34 年 (1901) 开始在东京美术学校学习洋画。求学期间，为文艺杂志绘制大量插图，在装饰美术、装帧、海报等商业美术领域都展现出绘画才能。之后对浮世绘版画格外关注，自大正 3 年 (1914) 始，相继发表了不少研究浮世绘版画的论文。

桥口五叶的第一张新版画画稿是绘制于大正 4 年 (1915) — 大正 5 年 (1916) 的《浴场之女》。此画在画稿、雕版、印刷等环节反复进行探讨修改，耗时一年才完成刻版印刷，但是据说五叶对此幅作品并不满意，所以与渡边版画店的合作仅限此幅作品，之后便自立门户，开设私家版版画店，边绘制画稿，边进行浮世绘复刻与新版画创作。大正 7 年 (1918) 之后，连续发表 10 多幅新版画作品，每一幅作品都以华丽、优雅著称。大正 9 年 (1920)，私家版版画创作逐渐步入正轨之际，桥口五叶却不幸病逝，辞世时仅 41 岁。

桥口五叶去世后，未完成的新版画作品与画稿，由弟子藤木喜久磨与侄子桥口康雄接手继续制作完成。

生没年 明治 14 年 (1881) ~ 大正 10 年 (1921)

作画期 明治 28 年 (1895) 左右 ~ 大正 9 年 (1920)

日本近代的な有名な装丁家、デザイナー、版画家である。日本有名な小説家夏目漱石の作品——「吾輩は猫である」のために、挿絵を描いた。五葉は浮世絵の研究もした。橋口五葉の版画は、江戸時代の伝統を受け継ぎ、近代的な風格を有する。特に、浴女が得意です。橋口五葉の作品は、「アップル創業者」スティーブ・ジョブズに好かれ、集めた。

新版画を提唱した渡邊庄三郎に、はじめに協力した画家の一人が橋口五葉であった。

五葉は、明治 14 年 (1881)、鹿児島県鹿児島市で代々藩医をしていた家に生まれ、少年の頃から日本画を学んだ。明治 32 年 (1899)、東京へ出て日本画家の橋本雅邦に入門するが、遠縁にあたる洋画家の黒田清輝の勧めで洋画に転向し、明治 34 年 (1901) からは東京美術学校で洋画を学んでいる。在学中から文芸誌の挿絵などを手掛けていた五葉は、装飾美術のほか、装帧やポスターといった商業美術の分野で才能を発揮していく。また、浮世絵版画にも関心を持ち、大正 3 年 (1914) 以降、浮世絵版画の研究論文を発表しはじめる。

五葉にとって第一作目となる新版画『浴場の女』の下絵が出来上がったのは大正 4 年 (1915) で、その翌年に完成した。下絵や彫り、摺りに検討を重ね、長い期間をかけて制作されたが、五葉はその仕上がりに納得しなかったという。この一作のみで、五葉は渡邊のもとを離れ、画家として下絵を描きながら版元業もこなし、私家版での浮世絵復刻と新版画制作に取りかかる。大正 7 年 (1918) 以降、10 数点の作品を発表し、それらはいずれも豪華で優美に仕上げられた大作であった。しかし、私家版制作が軌道に乗り始めた大正 9 年 (1920)、五葉は病に倒れ、41 才という若さで世を去ることとなる。

五葉の没後、制作途中の作品や残されたいくつかの版下絵は、弟子の藤木喜久磨や甥の橋口康雄によって完成させられた。



No 1 (展品解说)

《浴场之女》

大正5年(1916), 桥口五叶与版元(出版商)渡边庄三郎合作完成了《浴场之女》。本作品使用了传统浮世绘版画的强调轮廓线的表现手法, 但是对于手拧布毛巾的浴场女(在温泉住宿等地为入浴客人服务的女性)身体的描写所透露出的立体感、厚重感毫无疑问受到了西洋美术的影响。因与版元渡边庄三郎印制时意见相左, 据说五叶对本幅作品并不满意, 此作品完成后, 五叶与渡边分道扬镳, 自己成为版元, 监督雕刻师与印刷师的工作, 开始了私家版浮世绘版画的复刻与新版画的制作。

『浴場の女』

大正5年(1916)、五葉は版元の渡邊庄三郎とともに『浴場の女』を完成させた。手拭いを絞る女性性は湯女と呼ばれ、温泉宿などで入浴客の世話をした。湯女の身体は、浮世絵版畫の伝統的な手法に倣い、はっきりとした輪郭線によって形成されるが、立体的で厚みを感じさせ、西洋からもたらされた写実表現の影響が見て取れる。五葉はこの作品の仕上がりに悔いが残ったようで、完成後は渡邊のもとを離れ、私家版(画家が自ら版元業をこなし彫師や摺師を監修するという出版形態)で浮世絵版畫の復刻と新版畫の制作を開始する。

No 1

浴场之女

彩色木版套印

1915年(完成: 1916年)

40.8cm × 26.9cm

浴場の女

多色摺木版画

大正4年(完成: 大正5年)

40.8cm × 26.9cm



No 2 (展品解说)

《化妆女》

五叶创作的首批私家版新版画作品之一。本作品描绘了着和服半条袖子，往肩上涂白粉的女性半身像。在传统浮世绘中称半身像为“大首绘”，多用于描写美人画与役者绘（歌舞伎演员画）。另外，背景空白处使用了传统浮世绘的独特技法——云母摺（使用云母粉来处理背景，增加画面光泽的技法）。五叶用传统浮世绘版画的表現手法，制作了洋溢着时代感的美人画。

『化粧の女』

私家版による新版画の第一作目にあたるのが『化粧の女』であった。

着物の片袖を脱いで、肩の辺りに白粉を塗る女性の半身像が描かれている。半身像は浮世絵においては「大首絵」とよばれ、美人画や役者絵に見られる。また、背景には何も描かず、一面に雲母摺（雲母の粉を使用して、画面に光沢を付ける技法）を施している。五葉は、浮世絵版画的な表現を用いて、近代的な感覚の漂う美人画を制作した。

No 2

化粧女

彩色木版套印

1918 年

55.5cm × 39.0cm

化粧の女

多色摺木版画

大正 7 年

55.5cm × 39.0cm



No 3

耶马溪

彩色木版套印

1918 年

51.8cm × 39.0cm

耶馬溪

多色摺木版画

大正 7 年

51.8cm × 39.0cm

No 3-5 (展品解说)

《耶马溪》《耶马溪(变色印刷)》《耶马溪(画稿)》

五叶创作的首批私家版新版画作品之一。

耶马溪是流经大分县中津市山国川的溪谷。画中可见雨中行进的马车。五叶于明治 44 年(1911)赴耶马溪旅行，本作品是以当时旅行时所绘素描为蓝本制作。No 4 是改变颜色搭配印刷的作品，No 5 是当时的画稿。

『耶馬溪』『耶馬溪(変わり摺)』『耶馬溪(画稿)』私家版による新版画の第一作目にあたるのが『耶馬溪』であった。

耶馬溪は大分県中津市を流れる山国川の溪谷である。雨の風景で、道中を進む馬車が見える。五葉は明治 44 年(1911)に旅で耶馬溪を訪れたと考えられ、この作品は、その時のスケッチをもとに制作されたものである。No.4 は色合いを変えて摺った作品で、No.5 は画稿である。